

当社独自のトレーサビリティ管理ツール「ConTrack」 世界中で広く利用されるナレッジ共有基盤「Confluence」と連携開始 ～ツール連携による開発プロセスの追跡強化で、品質説明・監査対応を効率化～

ソフトウェアの品質向上支援に関するサービスを提供する株式会社ベリサーブ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：嶋原 忠大、以下 ベリサーブ）は、当社独自のトレーサビリティ管理ツール「ConTrack」のバージョンアップを行い、ナレッジ共有基盤「Confluence^{※1}」との連携機能を追加しました。

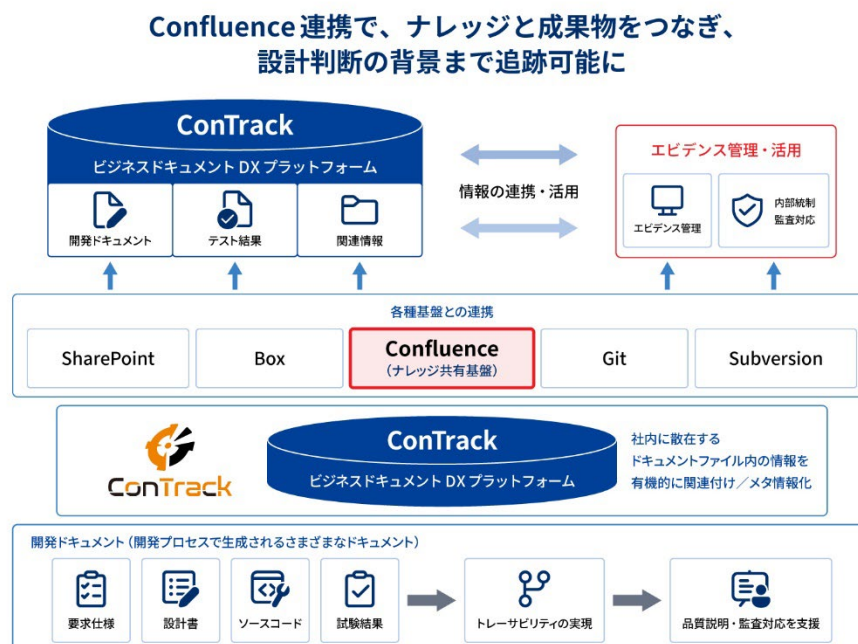
ConTrackは、ソフトウェア開発における要求仕様、設計書、ソースコード、試験結果などの開発ドキュメントの関係性を可視化し、トレーサビリティ管理を支援するツールです。また、企画・要求の背景、設計方針、検討メモ、レビュー記録、Q&A、会議記録など、開発における意思決定や検討経緯を示す情報を「開発ナレッジ」として扱います。

今回のConfluence連携により、Confluence上で管理される開発ナレッジと開発ドキュメントが結び付き、要求から設計、実装、試験に至る開発ドキュメントの関係性に加え、その背景にある設計判断や意思決定の過程まで追跡可能となります。これにより、開発プロセス全体のトレーサビリティ強化を実現し、品質説明や監査対応を効率化します。

トレーサビリティ管理ツール「ConTrack」

<https://www.veriserve.co.jp/service/detail/ctrack.html>

※1 Atlassian Pty Ltd. が提供する、企業内の文書、設計情報、業務ナレッジなどを一元管理できるプラットフォーム



ビジネスドキュメント DX プラットフォーム ConTrack

■背景

近年、製造業界や金融業界、インフラ業界をはじめとする高い品質や安全性が求められる分野では、顧客要求や規制要件などの要求事項が、設計から実装、試験に至るまで適切に反映されていることを証明するため、トレーサビリティ管理の重要性が高まっています。

一方で、ソフトウェア開発の現場では、要求仕様や設計書、ソースコードなどの開発ドキュメントに加え、設計方針、検討メモ、レビュー記録、Q&Aなどの開発経緯を表す情報も重要な開発ナレッジです。しかし、これらの開発ナレッジはConfluenceなどの情報共有基盤で管理されることが多く、開発ドキュメントとは別に分散して保管されています。

このため、開発ドキュメントだけでは把握しきれない設計判断の背景や検討経緯を後から確認することが難しく、品質説明や監査対応の際に必要な情報の収集・整理に多くの工数を要するケースもありました。

今回のConfluence連携は、こうしたお客様からのご要望に応えるものです。全世界で6万社以上に利用されているConfluenceを活用する企業でも、既存環境を生かしながら開発ナレッジと開発ドキュメントを横断したトレーサビリティ管理を実現できます。

■Confluence連携の概要

ConTrackとConfluenceを連携することで、Confluence上で管理される開発ナレッジをConTrackで管理する開発ドキュメントと関連付けて管理できます。

【ConTrackと関連付けることで管理できる開発ナレッジの例】

- ・ 要求仕様の検討経緯
- ・ 設計方針に関する議論
- ・ レビュー指摘とその対応記録
- ・ 技術的な検討メモ
- ・ 設計判断に関する会議記録

これにより、要求仕様から設計、実装、試験に至る開発ドキュメントの関係性だけでなく、その背景となる開発ナレッジまで含めたトレーサビリティを実現すると共に、開発ドキュメントと開発ナレッジを開発現場の情報資産として統合的に活用できるようになります。

■Confluence連携によるメリット

1. 品質説明や監査対応を支援

要求事項と設計、実装、試験結果との対応関係に加え、その背景となる判断根拠まで追跡できるため、要求事項が適切に実装されていることの証明や、監査・認証対応に必要な情報の収集・提示を効率化します。

2. 開発情報の分散を解消

従来は別々に管理されていた開発ナレッジと開発ドキュメントを結び付けることで、開発情報の探索や参照にかかる工数を削減すると共に、分散した情報を横断的に参照できるようになり、開発プロセス全体を俯瞰した情報活用を可能にします。

3. 設計判断の背景が追跡可能

開発ナレッジと開発ドキュメントを関連付けることで、設計判断の背景を後から確認できます。これにより、担当者の異動や長期保守の場面でも、意思決定の経緯を把握しやすくなります。

■今後の取り組み

ConTrackはこれまで、Box、SharePoint、GitHubなどのドキュメント管理基盤との連携を拡充してきました。今回のConfluence連携により、ナレッジ共有基盤を含めた情報連携を実現し、開発現場に散在する情報資産を結び付ける取り組みをさらに推進します。

また、次のステージとして AI エージェントとの連携を目指します。ConTrack が関連付けて管理する開発ドキュメントや開発ナレッジを AI エージェントが横断的に参照・活用できる基盤を整備し、MCP (Model Context Protocol) ※2 などの技術も活用しながら、開発現場に散在する情報を有効活用し、開発業務の高度化と効率化に貢献します。

※2 AI アプリケーションと外部ツール・データソースを標準的に接続するためのプロトコル

■株式会社ベリサーブについて

設立：2001 年 7 月 24 日

代表取締役社長：嶋原 忠大

本社：東京都千代田区神田三崎町 3-1-16 神保町北東急ビル

事業内容：ソフトウェア事業

1. ソフトウェアテスト・品質関連事業
2. サイバーセキュリティ関連事業
3. コンサルティング関連事業
4. ソフトウェア開発関連事業
5. その他事業

URL：<https://www.veriserve.co.jp/>

【サービスに関するお問い合わせ先】

<https://www.veriserve.co.jp/contact/>

【リリースに関するお問い合わせ先】

広報部 広報課 佐藤、太田

TEL：050-3640-8194

MAIL：press@veriserve.co.jp

※掲載されている製品名、会社名、サービス名は、各社の商標または登録商標です。